

# 地域おこし協力隊 活動記 Vol.89



6月6日、相馬小3年生のりんご体験学習に同行



6月11日、ねぶた小屋の小屋かけをお手伝い



6月21日、りんご研修（2回目）を受講



5月31日、相馬中学生のラベンダーロード整備事業に同行

こんにちは、協力隊の加賀新一郎（かがしんいちろう）です。  
少々旧聞に属する話で恐縮ですが、前回のこのコーナーで書けなかったので、この機会にお伝えしたいと思います。さ

る五月一日、協力隊の着任式がありました。この日の朝、意気込んで玄関を開けると、目の前になんとへびがニョロニョロ！一メートルくらいのおそろくニシキヘビだと思えます。思わず「うわっ」と声をあげてしまいました。向こうも驚いたのかすぐに繁みに逃げ隠れてしまいました。きっと蛇神様が龍神様がお祝いに来てくれたんだ、と思うようにしました。

そんな朝から始まった協力隊生活も二ヶ月がたちました。まだまだ相馬につ

いて勉強している段階で、活動のほとんどはイベントや行事のお手伝いで、たいていは穂坂修基（ほさかもとき）隊員との共同作業です。久しぶりに本格開催となるねぶたの小屋かけや、五年ぶりの開催となる相馬地区体育協会主催のソフトボール大会……こうした地区内の催しをお手伝いして感じたのは、地域のごことに真摯かつ熱心に取り組んでいる方が少なからずいらつしやる一方で、やはり高齢化、人手不足は深刻だな、ということ。もちろんこれは相馬の主要産業である農業でも顕著で、さらに言えば相馬に限ったことではないかもしれません。

ただ、よそ者から見ると、相馬には残していくべき魅力的な地域ならではの伝統文化や行事があると思います。これらを承継していくための仕組みをつくっていったら、と思っています。

そのためには、いろいろとお手伝いしながら相馬への知識と地域の皆さんの信頼を深め、地域がより元気になる独自の企画を打ち出せるようにならなければなりませんね。その願いが叶い、蛇神様の登場が本場の予祝になるよう、努力したいと思っています。

